

市報

こだいら

市制施行 50周年記念 特集号

躍動をかたちに 進化するまち こだいら **こんなに だいすき 小平市!**

平成24年 (2012年)

平成24年 市制施行50周年

4/20 第1281号

発行：小平市 編集：企画政策部秘書広報課

〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211 (代表)

◇小平市ホームページ

◇電子メール

◇小平市携帯電話用ホームページ

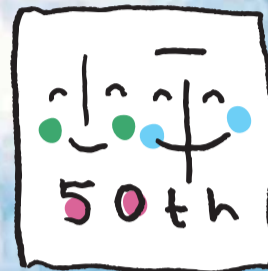
<http://www.city.kodaira.tokyo.jp>

info@city.kodaira.lg.jp

<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/m/>

こんなに だいすき 小平市!

平成24年 市制施行50周年



市長からのメッセージ



小平市長
小林 正則

50年前、小平市の人口は7万人あまり。現在は、先人の計り知れない労苦の結晶により18万人を超える中核都市へと発展してきました。50年後の未来は容易に予測できませんが、次世代に向けた新たな展望を開くため、大きく一歩踏みださなければなりません。

今後は、高齢社会などの社会経済の変化に柔軟に対応できる持続可能なまちづくりが必要になってきます。物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを求める、互いに支え合う社会の実現です。

私は、この市制施行50周年という半世紀に一度の節目に、特別な想いを抱いています。50年後、100年後の未来に向けて、大きくかじを切らなければならないからです。それは、既存概念を乗り越え、市政を前進させていかなければならないからです。

真に豊かさを実感できるシステムづくりは、地域のさまざまな課題を自ら解決していく住民自治そのものであります。そのための支援を行っていきたくと考えます。これはモデルのない壮大な取り組みです。この取り組みの際には、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今年、市制施行50周年を記念するさまざまな事業を予定しています。市民の皆様には、ぜひ積極的にご参加いただき、小平に愛着や親しみを感じてもらいたいと思います。

過去と未来の小平に想いを寄せながら、ふるさと小平を盛り上げていきたいと思います。

市議会議長からのメッセージ



小平市議会議長
佐野 郁夫

小平市が昭和37年10月1日、都内で11番目に市制を施行して以来、本年で50周年という記念すべき節目の年を迎えたことは、誠に喜ばしい限りです。

歴史をさかのぼりますと、今から約350年前に小川九郎兵衛によって開拓されました小川村が現在の小平の始まりとされています。開拓当時の小平一帯は、水を得るのが難しい荒野であり、たいへん厳しい環境の中、開墾が進められ、新田村が開拓されていきました。こうした先人の努力と忍耐によって、今日の発展の基盤が形作られました。また、50年前の市制施行当時の小平市の人口は約7万人でしたが、現在の人口は18万人を超えるまでになり、東京近郊の中堅都市として大きく発展を遂げてきました。これもひとえに、市民の皆様を初め、多くの皆様のまちづくりに対しますご支援、ご協力のおかげと深く感謝を申し上げたいと思います。

本年は、市制施行50周年を記念するさまざまな催しが予定されていますが、市議会では7月に子ども議会を開催します。子ども議会を通して、子どもたちが議会の仕組みを体験することや、子どもたちとより多くの市民が議会や市政に対する理解や関心を深める機会となることを期待しています。

市議会としても、二元代表制における市政50年の一翼を担ってまいりました伝統と歴史を踏まえ、新しい時代の小平市を創造するために、市民の皆様の声に応えながら市民福祉のより一層の向上に取り組んでいきたいと思っています。

市制施行50周年 記念事業の構成

これまでの小平を支えてきた市民の皆さんと、これからの小平を支えていく市民の皆さんにスポットを当て、3つのキーワードで推進します。

- [1] ふるさとの文化や歴史を再確認する事業群「**あゆみ**」
- [2] 将来を築く子どもが夢を描く事業群「**きぼう**」
- [3] 新たな風を吹き込み、みどりあふれる将来の小平への魅力づくり、仕掛けづくりを行う事業群「**いぶき**」

あゆみ「郷土の歴史、伝統文化を大切にする」ための事業のグループ

きぼう「未来を創る子どもたちを大切にする」ための事業のグループ

いぶき「魅力あるまちづくりへの活動を大切にする」ための事業のグループ

市へのあゆみ

小平の開拓の歴史は、355年前にさかのぼります。徳川家康によって幕府が開かれてから、江戸周辺では人の往来も激しくなり人口も増加してきました。人口の増加とともに、水に対する需要も増え、井の頭から水を引いた神田上水をはじめ、玉川上水や野火止用水が造られました。しかし、江戸に比べ、武蔵野一帯は住む人もなく荒涼とし、旅人などの困難はたいへんなものでした。こうしたなかで、明暦2年(1656年)小川九郎兵衛によって小川村が開拓されました。さらに享保年間(1716、1736年)には小川新田、大沼田新田、野中新田と右衛門組、野中新田善左衛門組、鈴木新田、廻り田新田と次々に開拓されました。

明治22年4月1日に武蔵野の新田村として成り立ってきた7つの村が合併され「小平村」となり、昭和19年2月11日に「小平町」となりました。

昭和35年の国勢調査で、人口が52,923人と発表され、法で定められた「市」としての要件も整い、昭和37年10月1日、全国で558番目、東京都で11番目の「市」として誕生しました。

